



ひろの活動事例

洋野町地域おこし協力隊 安藤あさひ

プロフィール



安藤あさひ

- 東京都杉並区生まれ
青森県八戸市育ち 37歳
- 洋野町は祖父母の家があったため、思い出のある場所
- 小1と中1の男子と共に暮らしている
- 職歴：保育士・PCインストラクター・法人営業・
総務事務・保険営業など
- 2018年4月～洋野町地域おこし協力隊
グリーンツーリズム推進員
2019年8月～観光振興推進員（ミッションチェンジ）

情報発信



facebook

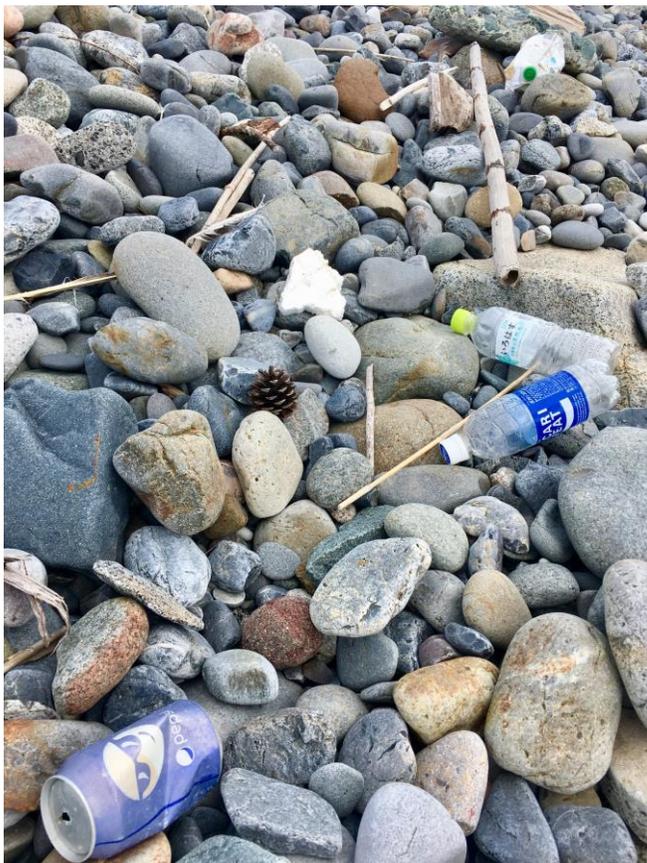


instagram



ひとりで始めた「ひろーるプロジェクト」





心境

プラスチックごみの多さ
マイクロプラスチックになる瞬間を
目撃したことをきっかけに環境に
対する関心が高まる

望み

新たなお土産品は、プラス
チックに頼らず、地球にやさしく人の喜ぶものを創りたい。

課題

洋野町のお土産品のバリ
エーションが少ないこと

気付き

土・有機物のみでできる陶芸。
地球が丸ごと材料になり、人の役に
立つものに変化する



陶芸 + 海モチーフ
= 洋野町の新みやげ

「ひろのみやげ」企画販売



洋野町観光協会 陶芸部

PR動画



新東北 みやげ コンテスト



ぐい呑み



箸置きセット



風鈴

ウニ殻プロジェクト



ウニの名産地洋野町。

美味しい恩恵をいただける一方、
殻は産業廃棄物として捨てられています。
その量は、町内だけでも**年間85 t**。

一方、**工芸**の郷でもあり、
職人さんが多くいる環境でもあります。
なかでも陶芸は、地球が丸ごと材料になり、
有機物は釉薬にできる。

ならば、**ウニの殻**は活用できないだろうか。
ウニの名産地と**工芸の郷**だからこそできる
(もしかしたら) **世界初**の
工芸品づくりのはじまりです。

ウニ殻から生まれた陶芸品

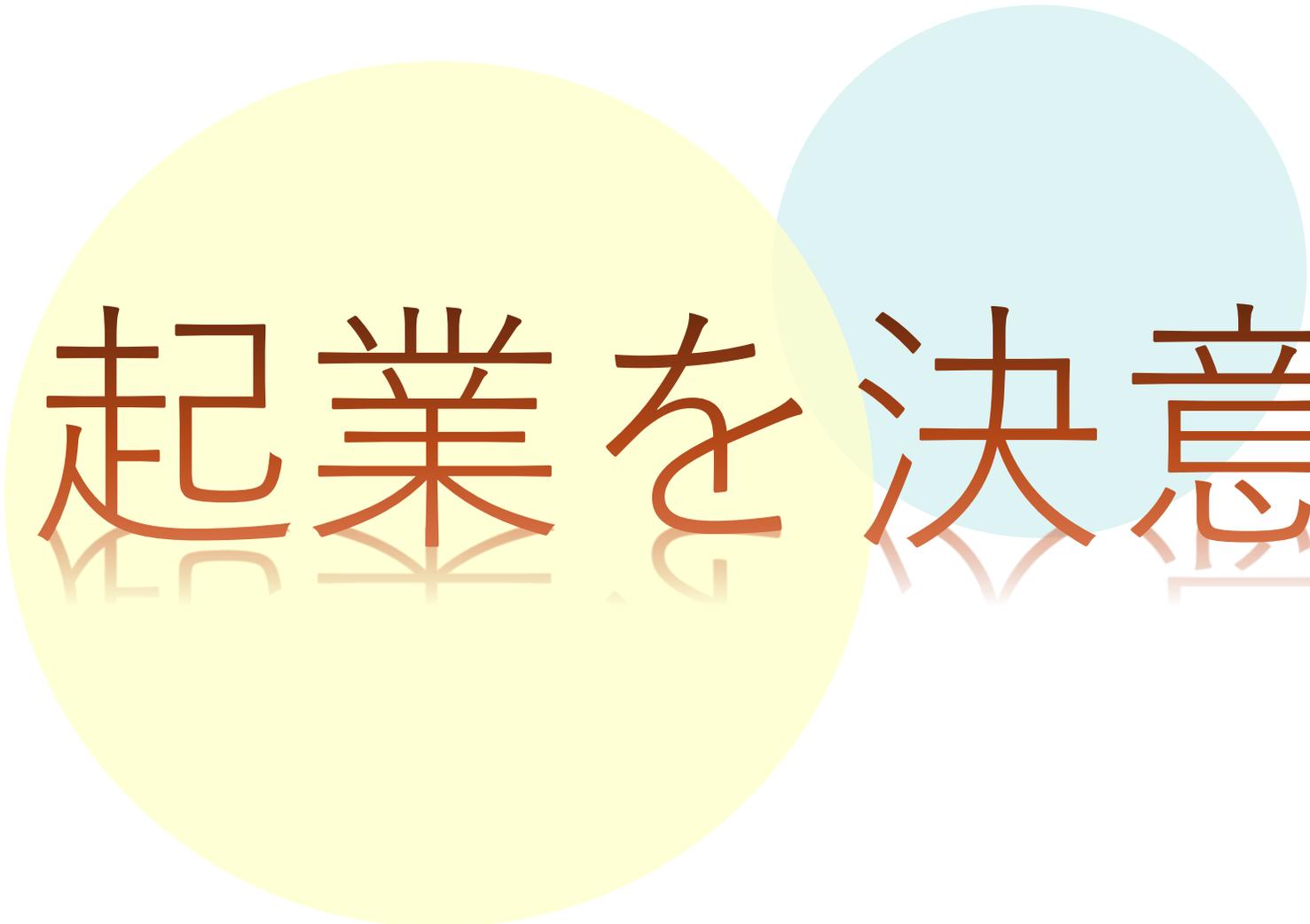
陶芸工房の職人さんのご協力のもと、ひろの屋さんから3キロのウニの殻を貰って実験開始。

ウニの殻を燃やし、砕き、調合して釉薬にした。
試作品として茶碗を作成。

左：大野土
右2つ：信楽土

それぞれ風合いの異なる器が完成。





起業を決意

これで起業をしようと覚悟した背景は、1年半でミッションチェンジした理由にある。

挫折

The background is a colorful, painterly illustration of a city at night. In the foreground, a character wearing a brown top hat and a blue coat with a red collar is visible. A hot air balloon with a basket and a small figure is floating in the air. The city buildings are lit up with warm yellow and orange lights, and the sky is a mix of blue and white, suggesting a sunset or sunrise. The overall style is whimsical and artistic.

ただ捨てられるだけの**不毛**な存在を
また人の**喜ぶ**ものに「**Re Birth**」できたらいいな。

そんな想いと陶芸がリンクしました。

最大で最高の倍返しは
笑顔になること
笑顔にすること

それが
勝ちになる
価値になる



地域の飲食店で生ウニ丼の器として使ってもらおう！

CROWD FUNDING



クラウドファンディングでたくさんの方に知ってもらおう！



ネットショップ開設！



世界に発信！

困室



ご清聴ありがとうございました